

「安倍9条改憲を阻む共同を！」 憲法共同センターが3000万署名の先頭に 渡辺治さんが熱く訴え 210人超が学習会に参加

9月7日、憲法共同センターは、渡辺治氏（一橋大学名誉教授）をまねいて学習会を開催。会場いっぱいの210人を超えるなかまが首都圏・各団体から参加しました。

渡辺治さんは、「安倍9条加憲」の危険性について、「自衛隊を国民が容認していることと、自衛隊保持を憲法に書くことは、根本的に違う」「戦争法により海外での武力行使を認められた自衛隊を合憲化する。自衛隊は海外で殺し合いをする軍隊に変貌する」と、強調。

そのうえで、安倍改憲を阻むかつてない共同を急いで広げることの重要性を訴え、それは「総がかり」を一回り大きくした「安倍9条改憲 NO!全国市民アクション」だと強調。九条の会は、これまで共闘団体には入ってこなかったが、この市民アクションには参加し、全国で運動を広げていく決意を表明。最後に、憲法共同センターに期待することとして、「市民アクションの先頭にたち、3000万署名の牽引を」と訴えました。

最後に全労連小田川議長が「3000万署名の推進」「11月3日をはじめとする節目の大行動」の成功をよびかけました。



3000万署名推進で、安倍9条改憲ストップ！ 全国市民アクション キックオフ集會に1500人



9月8日中野ゼロホールで、「安倍9条改憲 NO!全国市民アクションキックオフ集會」が開催され、会場いっぱいの1500人が参加。発起人・呼びかけ人のうち、同志社大学教授の浜矩子さん、評論家の佐高信さん、作家の落合恵子さん、精神科医の香山リカさん、ジャーナリストの高野孟さん、埼玉大学名誉教授の暉峻淑子さんらがスピーチ。「国民の大合唱が形成されれば怖いものはない」（浜氏）「9条を変えるということは、戦後の歴史を捨てることだ」（鎌田慧氏）と語りました。

総がかり行動実行委員会の小田川義和さんが行動提起。3000万人を目標に全国統一署名を集め、改憲発議を阻止す



ること、全国各地で市民参加の運動をつくりあげること、節目ごとに行う大規模集会を成功させることを呼びかけました。

総選挙をみすえ、市民と野党の共同前進を 市民連合第4回全国意見交換会

9月10日(日)、都内で「市民連合第4回全国意見交換会」が開催され、全国各地から地域市民連合のメンバーやこれから地域で市民連合結成をめざすなかま190人が参加。

最初に広渡清吾東大名誉教授が市民連合について紹介。法政大山口二郎教授が「政治状況の整理」と題して、安倍政権の暴走政治への批判と、次の政権交代へのイメージについて講演。続いて、仙台市長選挙勝利の教訓や埼玉総行動の経験について当事者から報告。

それらをふまえ、午後から12の分散会に分かれ、地域での活動の到達点や問題点、今後の活動をどのようにすすめていくかなどについて討論。

最後に全体会で、来年年末までには必ずおとずれの総選挙にむけて、地域ごとのたたかいを強めていく決意を固めあって終了しました。

憲法共同センターが3000万署名で宣伝

9月11日、新宿駅西口で、「3000万署名」と憲法共同センター作成新リーフ(19日から全国配信)を活用して、署名・宣伝行動を行いました。日本共産党・吉良よし子参議院議員、全日本民医連・木下興次長、

全商連・長尾桂子さん、東京憲法会議・齋藤純一事務局長、東京革新懇・今井文夫事務局長、全労連・長尾ゆり副議長が訴え。「自衛隊を殺し殺される軍隊にしているのか」「9条改憲を国民は望んでいない。安倍9条改憲をやめさせましょう」などと訴えると、足を止めて聞き入る人、署名を集めているなかまに「安倍さんのやろうとしていることは絶対にゆるせない。署名します」とかけよる人など、署名がどんどん集まりました。1時間あまりの宣伝で71人から署名が寄せられました。3000万署名達成にむけて、今後さらに活動を強めていく決意です。



お知らせ

① 憲法共同センター第4回総会

9月29日(金)18:30~20:30 全労連会館2Fホール

※地方組織から参加も受け付けます。参加希望の方は、添付の申し込み用紙で申し込んでください。

※総会に向けて、都道府県共同センターの活動実態調査にとりくんでいます。別紙調査用紙にて、ご返信ください。

② 新しいリーフレットができます。(添付のPDFをご覧ください)

A6 観音開き、カラー、1部4円

別紙の注文用紙でご注文ください。

③ティッシュペーパーの在庫があります。1個5円です。申し込みは憲法共同センターまで。

うまれない 憲法9条

戦争しないと誓った9条は、世界の宝
第二次世界大戦の惨害に尽くせない憎恨を教訓に、戦争の永久放棄、戦力の不保持を定めた日本国憲法第9条の誕生は、日本だけではなく、世界から歓迎されました。今も、世界でも稀に見る奇跡の平和条項であり、世界の宝です。

世論は圧倒的に改憲反対
憲法記念日の世論調査では、戦後日本が海外で武力行使しなかった理由は「9条があったから」とする回答が75%でした（共同通信社）。また、その他の世論調査も安倍政権の過半数をえています。

出典：共同通信社

私のアクション

「どうせ、改憲は変わらないよ」と思っていますか。でも、改憲しなければ何も変わりません。あなたの一歩が社会を変えます。選挙での野党統一候補の勝利、都議会議長選挙での自民党の惨敗など変化は生まれています。あなたも一歩を踏み出してみませんか。

- ◆署名を集めよう！同じ思いを裏面に託して世論をひろげよう
※「改憲反対署名」の集まりを必ず追加し「署名」(3000の7署名)
- ◆あつまって、つながって、学ぼう
◆憲法カフェなどで「平和と憲法」などおしゃべり
- ◆憲法の魅力を語ろう
- ◆声をあげよう
◆思いを「プラカード」などとしてスタンディング、SNSで拡散
◆デモや集会などに参加して、同じ思いの人と出逢って声になる

「我々はあるもの」と記したメッセージボードを掲げる仲間たち。大分県 2017年8月12日、新報社

戦争する国づくりストップ！憲法を守り、いかに共同センター
〒113-8462 東京都文京区湯島2-4-4 憲法共同センター
TEL: 03-5842-5611 FAX: 03-5842-5620 http://www.kyobun-center.jp/ (017496)

安倍9条改憲 ストップ!

武力から平和は 今こそいこう

平和外交の先頭に
国連安保理決議に反する北朝鮮の弾道ミサイル発射や核開発は断じて許せません。武力＝軍事力では何も解決しません。取り返しのつかない大惨事をまねく危険があります。対話こそが解決の道です。9条をもつ日本だからこそ、対話による解決を呼びかける先頭に立つことです。

テロも武力では根絶できない
武力は民族の対立や恨しみを増大させ、テロを活性化させてしまいます。解決の道は、宗派や意見の違いを超えて対話し、「貧困と差別」をなくすために話し合うことです。

憲法9条

戦争する国づくりストップ！憲法を守り、いかに共同センター

安倍首相がわらう 憲法9条改憲

行きつく先は海外で「戦争をする国」

新たに書き加えようとしている
自衛隊とは

9条1項2号はそのままにして、自衛隊を憲法で記すと、安倍首相は思います。いったいどういことが起こるのでしょうか。

安倍政権は、集団的自衛権を行使できるように、戦争法を強行成立させました。いまの自衛隊は、「海外に出て行く」自衛隊に変わりました。

海外での武力行使の
歯止めがなくなる

これまで、自衛隊は海外で戦い、殺されることはありませんでした。それは、自衛隊が「戦争しない国」にそのための戦力は保持しない(2項)と定めた憲法条項の制約を受けていたからです。自衛隊を9条2項の「例外」として明記すれば、この制約が廃止されます。

軍力を否定した
憲法の性格が変わる

憲法9条のもとで人権や民主主義より軍事を優先することは許されません。ところが憲法に自衛隊が書き込まれると、この原則が壊されます。水の中に墨汁が一滴垂れられたように、憲法全体の性格が変わってしまいます。

特定秘密保護法、戦争法、共謀罪、仕上り改憲法案で「戦争する国」へ暴走する安倍政権。これには市民団体が連日抗議活動を行っています。

安倍政権の考え
もてあそぶな

自衛隊員の命を
もてあそぶな

安倍政権の考え
もてあそぶな

2017
秋の臨時国会終了後 衆参憲法審査委員会
(11月か12月) 憲法改正案を提案

2018
1月 通常国会の憲法審査会
で憲法改正案を議論

6月 国会開議

12月の総選挙前か 国民投票案を
経議連と同日

政治は変えられる 全国で市民と野党の 共同が前進

安倍政権の暴走をストップさせたいと闘う市民におかれ、昨年度の参議院選挙ではある1人区すべてで野党統一候補が実現し、11の選挙区で勝利した。その後も参議院選挙(昨年10月)で野党が多数決の確信を得た。今年7月には仙台市長選挙で野党が対決で選挙権が勝利しました。東京都議会(7月)でも安倍改憲への怒りが噴出。自民党は歴史的な大敗を喫しました。1人ひとり声をあげれば、改憲は止まります。市民と野党で力をあわせて安倍政権を根絶させ、憲法を守り生きがいを政治を革新しましょう。